

メニュー

[この塾について](#)[理事長の挨拶](#)[お問い合わせ](#)[全体プログラム](#)[平成27年度 講座](#)[ロボットクラブ](#)[発明クラブ](#)[映画ビデオクラブ](#)[英語でアートクラブ](#)[ディベートクラブ](#)[まんがクラブ](#)[おもしろサイエンスクラブ](#)[過去の年度講座](#)[指導員・サポーターの募集](#)[未来塾新聞EURIKA](#)

サイト内検索

検索

[たかはま夢・未来塾](#) > [ディベートクラブ](#)

ディベートクラブ

第9回 ディベートクラブ講座

ウォーミングアップ「考えよう未来の高浜」

私が市長になったらこんなことに力を入れます・・・
というテーマで みんなに意見を出してもらいました。

(パチンコを無くす、図書館をもっと作る、小学校中学校をくっつける、ドラえもん工場を作るなど)



ディベート

1. 論題を決める

「高浜市はすべての小学校と中学校を合併するべきである。是か非か」

プラン: すべての小学校の中に中学校を作ります。(学校名は〇〇学園、小さい校舎は増設)

2. リンクマップを考える



3. 立論作り

4. 模擬試合



5. 修了式での発表に向けて役割の準備

ジャッジは修了式で観客のみなさんにしてもらいましょう・・・とのことです。

第8回 ディベートクラブ講座

●ウォーミングアップ

1. ドイツの教科書をもとに作られた「論理トレーニング」という本から例題文を先生が読み上げ、それについてみんなで考えました。



考えた結論は・・・

- ・報告には話の順番が大切である。
 - ・数字(何時など)を入れると良い。
- などでした。

2. ミニディベート

反対の立場で考えようゲーム

- ・まずは本音で
- ・次に本音ではない意見で

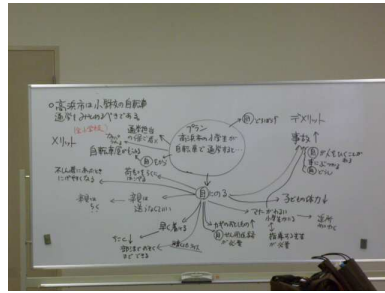


●ディベートゲーム

1. 論題を決める

論題:「高浜市は小学校の自転車通学を認めるべきである。是か非か」

2. リンクマップ作り



3. チーム分け



4. それぞれのチームで立論を作る(メリット、デメリット)

- ・メリット:遅刻がなくなり早く着く …通学に使う時間を勉強、運動に充てられる。
- ・デメリット:通学中の事故が増える …自転車のマナー指導が徹底していない。

5. 役割分担



6. デイベート試合



7. ジャッジ(長谷部先生)

「このデイベートで得られるものを比べるとしたら…」

メリット→学力、体力が上がる × デメリット→事故が減る

よって、反対側にジャッジします。」

第7回 ディベートクラブ講座

今回の講座は「新聞切り抜き作品コンクール」の作品作りということで机を全部片づけて、床でB紙を広げての作業でした。

先回の講座で決めた

- ・Aチーム：震災
- ・Bチーム：ロボット(科学)

の2つに分かれて、先生から作品の作り方について説明を聞きました。



作品のねらいは

テーマを通して「どんなことが伝えたいか」ということです。



あとはレイアウトを考えながら見やすいように仕上げていきます。



それぞれが持ち寄った新聞記事をもう一度読み直してテーマに関連性のある記事を選ぶ作業にみんな苦戦していました。



その作業をすることは

ディベートの立論を組み立てるトレーニングになるそうです。

3時間足らずの作業でしたが、とてもよい作品が出来たと思います。

Aチーム:震災



・Bチーム:ロボット(科学)



作品は、先生が中日新聞社に応募してくださるそうです。



第6回 ディベートクラブ講座

第6回目の講座の様子を紹介します。

ディベート講座も後半に入り、
残す3回の講座をどのように進めていくかということをみんなで話し合いました。

今日で春から取り組んできた論題のディベートは終わりとなるので
おさらいの意味を含めて試合形式でディベートをしました。

論題:「日本は救急車の利用を有料化するべきである。賛成か 反対か」

※ 一回の利用を1万円とする

手順は

- ・ グループをふたつに分ける。
- ・ 立論を作る。
- ・ 立論、質疑、反論の担当者を決める。
- ・ 試合開始
- ・ ジャッジ

この流れを何回も繰り返してきているので、みんなかなり慣れてきたように思います。

自分の担当のところで言葉に詰まってしまう子もいますが、

前回の講座でディベート大会を見学した子は
試合中に使う言葉が本格的な言葉になっていました。

ディベートを学ぶことも大切ですが
雰囲気を感じ取ることも、とても意義のあることだと感じました。

次回の講座では

中日新聞社主催の「新聞の切り抜き作品コンクール」に応募することになりました。

資料収集や、たくさんのお手紙からひとつのテーマを見つける
という練習になるそうです。

二つのチームを作り、テーマが次のように決まりました。

- ・Aチーム 震災
- ・Bチーム ロボット(科学)

次回講座までの一か月間で

テーマに関係のありそうな新聞の切り抜きを集めておくことにしました。

第5回 ディベートクラブ講座

第5回目の講座の様子を紹介します。

今回の講座は特別講座として
講師の長谷部先生が審判をされるということで

「一宮市中学生ディベート大会」の試合見学に行ってきました。

長谷部先生が勤務しておられる一宮市では

毎年、全中学校参加のディベート大会を
予選リーグ戦、決勝トーナメント戦、合わせて二日間行なっているそうです。



未来塾のみんなが見学した試合会場は
一宮市立 大和中学校です。



試合前の様子。



選手の皆さんの緊張が伝わってきました。



長谷部先生が審判を担当していない試合なので
みんなに解説してくれました。

むずかしい言葉が飛び交っていましたが
みんな一生懸命メモを取っていました。

ディベートの試合を実際に見ることができて

- ・立論
- ・質疑
- ・第一反ばく
- ・第二反ばく

の流れがイメージしやすくなったと思います。

第4回 ディベートクラブ講座

第4回目の講座の様子を紹介します。

まずはいつものウォーミングアップ。

夏休み明けだったということもあり、
夏休みで楽しかったことを一つテーマにして一分間スピーチをしました。

そのあとは「消防署見学」へ出発です。



みんなが着いた時には
救急車は出動した後だったようです。



救急車が待機中だったら
車内の見学をさせてもらえたそうで、とても残念でした。



前回の講座でみんなで考えた質問を
事前に消防署の方にお渡ししておきました。

質問内容は

- 高浜には救急車は何台あるのか。
- もし、救急車が全部出動していたとき、119番が入ったらどうするのか。
- 全部出動するようなことは実際にあるのか。
- 一日何回出動するか。(何年前と比べて増えているのか、変わらないのか)
- なぜ救急車はただで利用できるのか。
- 病院では救急車で運ばれると必ず優先的に診察してもらえるのか。
- 入院するほどでもないケガや病気でも救急車を利用する人は多いのか。
- 救急車の中にはどんなものがあるのか。普通の寝台車やタクシーとは何が違うのか。
- 救急車はいつからあるのか。
- なかった時代はどうしていたのか。

などです。



消防署の方は丁寧に答えてくださいました。

救急車は高浜市所有のものは1台ですが
高浜市を含む5つの市で構成されている「衣浦東部広域連合」では全部で15台所有しているそうです。

この日のように出動中の場合に出動要請がきたら
一番近くにいる救急車に無線で連絡することになっているそうです。

実際この日、高浜市の救急車は隣の市からの要請で出動していたようです。

高浜市では一日平均4件の出動要請があるそうです。



近年、救急車の出動件数が増えており
到着時間が遅くなってきているそうです。

「救急車が必要なのはどんなときか」を
ポスターやパンフレットなどで呼びかけているそうです。

消防署の方の説明の間にも

出動中の救急車は、また無線で呼ばれて次の現場へ直行してしまいました。

救急車と救急隊の方が

どんなに忙しいのかが良くわかった見学となりました。。



今日の見学を参考にして

「日本は救急車の利用を有料化するべきである。」

このプランによるメリット、デメリットを
次回の講座で考えましょう。

第3回 ディベートクラブ講座

第3回目の講座の様子を紹介します。

【今日のコミュニケーション力】

『小学生が作ったコミュニケーション大事典』(あらき書店)から
34の伝え合う力を少しずつ紹介していくことにしました。

まずはその中から選んだ10項目です。

(1)あいさつ力 (2)返事力 (3)表情力 (4)笑顔力 (5)うなづき力
(6)あいづち力 (7)視線力 (8)姿勢力 (9)ボディランゲージ力 (10)メモ力

どんなことでもまずは
礼儀正しいあいさつからです(1)

そして
話を聞くときはうなづきながら聞くということを確認しました。(5)

最後に
聞いた話はもらさずメモする。(10)

ディベート講座ではそんなマナーというルールがあるということをもういちど確認しました。



【ウォーミングアップ】

ABCの3組に分かれます。
そのうちの2組がディベートをして、残った1組が審判役です。

論題:「せんぶうきがいいか、うちわがいいか」

じゃんけんで勝った方がせんぶうき派、負けた方がうちわ派というように
自分で立場を決めない方法でおこなっています。

※ なぜそのような決め方をするのか。

ディベートとは自分の立場を選んで説明するゲームではなく、
どちらの立場も経験し、双方の立場をわかった上で

自分なりの考えを持つことを重要視しているからです。

・せんぶうき・・・手で仰がなくてもいい
寝ていても動いている
・うちわ・・・電気がいらぬ

場所を選ばず使える
置き場がいない



【ミニディベート】

論題:「暑い夜に、寝るときはエアコンをつけるべきだ。イエスかノーか。」

ABCDの4組に分かれます。

立論、質問、反論のそれぞれ役割を決めてディベートマッチを行いました。
時間は、立論、質問、反論、各30秒 でリーグ試合。

- ・イエス(エアコン派)・・・涼しくて気持ちよく寝られる。
エアコンを入れないと熱中症になってしまう。
エアコンを入れないと夜寝られなくて次の日に勉強や運動ができなくなる。
- ・ノー(エアコン入れない派)・・・節電になる。
薄着をしたり、首に保冷剤をつけていると快適に過ごせる。
扇風機もある。

などの主張が見られましたが

みんなまだまだどう反論していくのかわからないようでした。



最後に

【消防署見学での質問を考える】

次回の講座では

論題:「日本は救急車の利用を有料化するべきである。」

という論題でディベートを行うために
まずは救急車利用の実態を見学して来ようということになりました。

そこでどんなことを聞くのかあらかじめ用意しておこうということで
みんなていっくか考えました。



ということで、9月講座が楽しみです。

第2回 ディベートクラブ講座

第2回目の講座の様子を紹介します。

まずはいつものようにウォーミングアップ。

・2人一組になり、相手の好きなもの、嫌いなものをそれぞれ質問しました。
(メモはしっかり取ります。)

・次に相手のことをみんなの前で発表しました。
(聞く人が分かりやすいように発表します。)



身体(頭)も温まったところで、前回講座の続きです。

論題:「高浜市は学校に持っていく水筒にはジュースを入れても良い。賛成か、反対か。」

前回は論題について知るために
メリット、デメリットをいくつかあげたところで終わっていました。

まずは3チームを作り
2チームが対戦をして、残りのチームがジャッジ役です。



メリット、デメリットから
賛成の立論と反対の立論をそれぞれ作ります。



賛成側を担当するチーム、反対側を担当するチーム、ジャッジのチームを決めました。

次にチームごとに「試合フォーマット」に基づいて

- ・立論 1分
- ・質疑 1分
- ・第一反ばく 1分
- ・第二反ばく 1分

と担当を決めて試合に挑みました。

1分間がとても長く感じます。



初めての試合なので要領が分からず戸惑う人もいましたが

試合は慣れていくものなので
「とにかくやってみる」ことが大切なのですね。



後半からの時間は
本講座でのディベート論題をみんなで決めました。

論題:「日本は救急車の利用を有料化すべきである。賛成か、反対か。」

この論題で
これから少しずつディベートを学んでいきましょう。

講座が終わるころには
みんなカッコいい試合ができるようになってきていると思います。

第1回 ディベートクラブ講座

日時:5月21日(土) 13:00から16:00

場所:たかはま夢・未来塾

「ディベートクラブ講座」

いよいよ2年目がスタートです。

講師は昨年度に引き続き

ディベーターとして活躍中のおでん先生こと「長谷部浩一先生」です。



第一回目の講座の様子を紹介します。

1. ウォーミングアップ [おたがいを知ろう]

2人1組になり、お互いにインタビューしてそれをみんなに伝えるという作業をしました。

- (1) 時間制限あり(3分間)
- (2) さらに詳しく聞く(理由)
- (3) メモを取りながら聞く
- (4) みんなに伝えるように話す

こんな作業の中にも

ディベート講座で身につけて欲しい技能が詰まっています。

今回参加する11名のことが少しわかりましたね。

続きは1年かけて触れ合う中で理解していきましょう。



2. ディベートをしてみよう [ディベートの仕組み]

ディベートとは・・・

- (1) ある内容について 賛成と反対 というように2つの立場に分かれ
- (2) 議論し、自分の立場がいかによいかを
- (3) 審判に説明する
- (4) というゲームである。

ちょっとむずかしいけど、とにかくトライ！

<第1ラウンド>

論題「夏と冬 どちらが良い季節なのか」

- ・理由の説明
- ・質問
- ・反論

まずは

ディベートの構成を知ることから。簡単なミニディベートをしました。

<第2ラウンド>

論題「高浜市は学校に持っていく水筒にジュースを入れても良い。賛成か、反対か。」

次に

チームを作り、勝ち負けを決めるゲームをしてみよう。

準備1

ディベートは論題を詳しく理解することが必要です。

「学校に持っていく水筒にジュースを入れる」というプランについて
どんな良いこと(メリット)、悪いこと(デメリット)があるのか考えてみました。

ここで終了時間になりました。

次回講座では

準備2 立論を作る …です。

3. みんなの感想です。

- ・初めて会う人がいたけど、あまり緊張しなくてすんだ。となりのひととあまりしゃべれなかったけど、これからしゃべれるといいな。
- ・一年間とても楽しみです。
- ・ほんのちょっとだけ勉強になりました。早く6月になって二回目をやりたいです。
- ・私は筋道を立てて話すことが大の苦手なので、この講座を通してできるようになりたいです。
- ・去年もやってるからいつも通りにディベートができた。先生と「夏か冬」でディベートをしたかったな。

長谷部先生より

みなさんが楽しんでディベートに触れてくれることが一番嬉しいです。

ディベートは奥が深くて学ぶことは山ほどたくさんあります。

皆さんと一緒に、少しずつ確認して行きましょう。一年間よろしくお祈りします。

平成22年度 討論・ディベートクラブ

平成22年度の活動については、[こちら](#)。

 [RSS FEED](#)  [記事一覧](#)  [サイトの最初のページへ](#)  [ページの先頭へ](#)

Copyright(C) 2008 たかはま夢・未来塾 Allrights reserved.